

最近の経済動向

令和2年7月号

(北海道の景気動向～令和2年5月の経済指標を中心として)

新型コロナウイルスの影響により、低迷している

■生産動向

P1 生産活動(鉱工業生産指数)
低下している

■需要動向(消費・投資)

P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、
インターネットを利用した一世帯支出額、新車登録台数)
低下している

P6 住宅建設(新設住宅着工戸数)
減少している

P7 公共工事(公共工事請負金額)
増加している

P8 観光(来道者数、来道外国人数)
引き続き悪化し停滞している

P10 輸出入(輸出額、輸入額)
輸出額、輸入額とも前年を下回った

■企業倒産

P11 企業倒産(倒産件数、負債総額)
倒産件数、負債総額ともに減少した

■雇用動向

P13 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)
弱い動きが続いている

■物価動向

P15 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を下回った

■企業の業況感

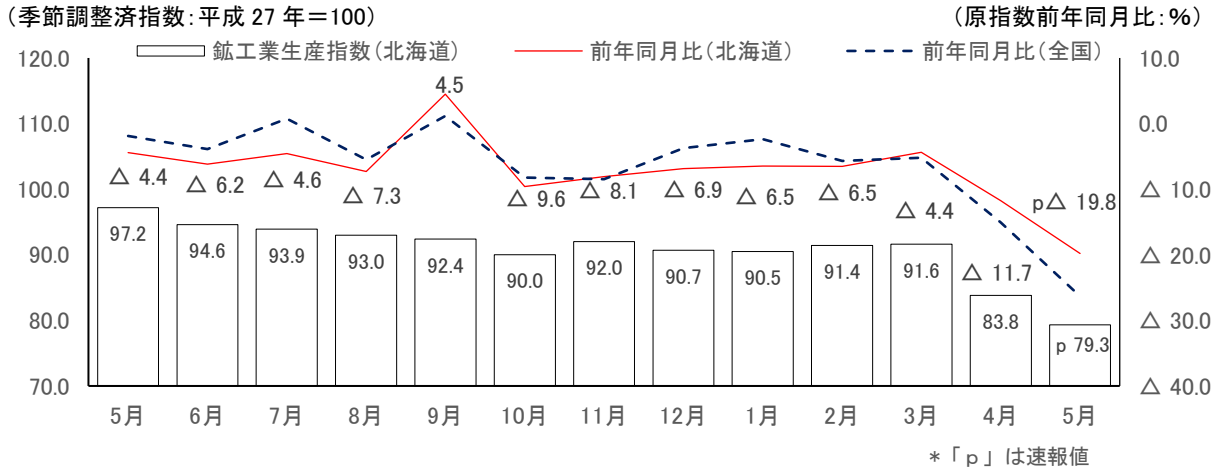
P16 企業経営者意識調査
前期から下降している

P17 企業のみなさまから伺いました

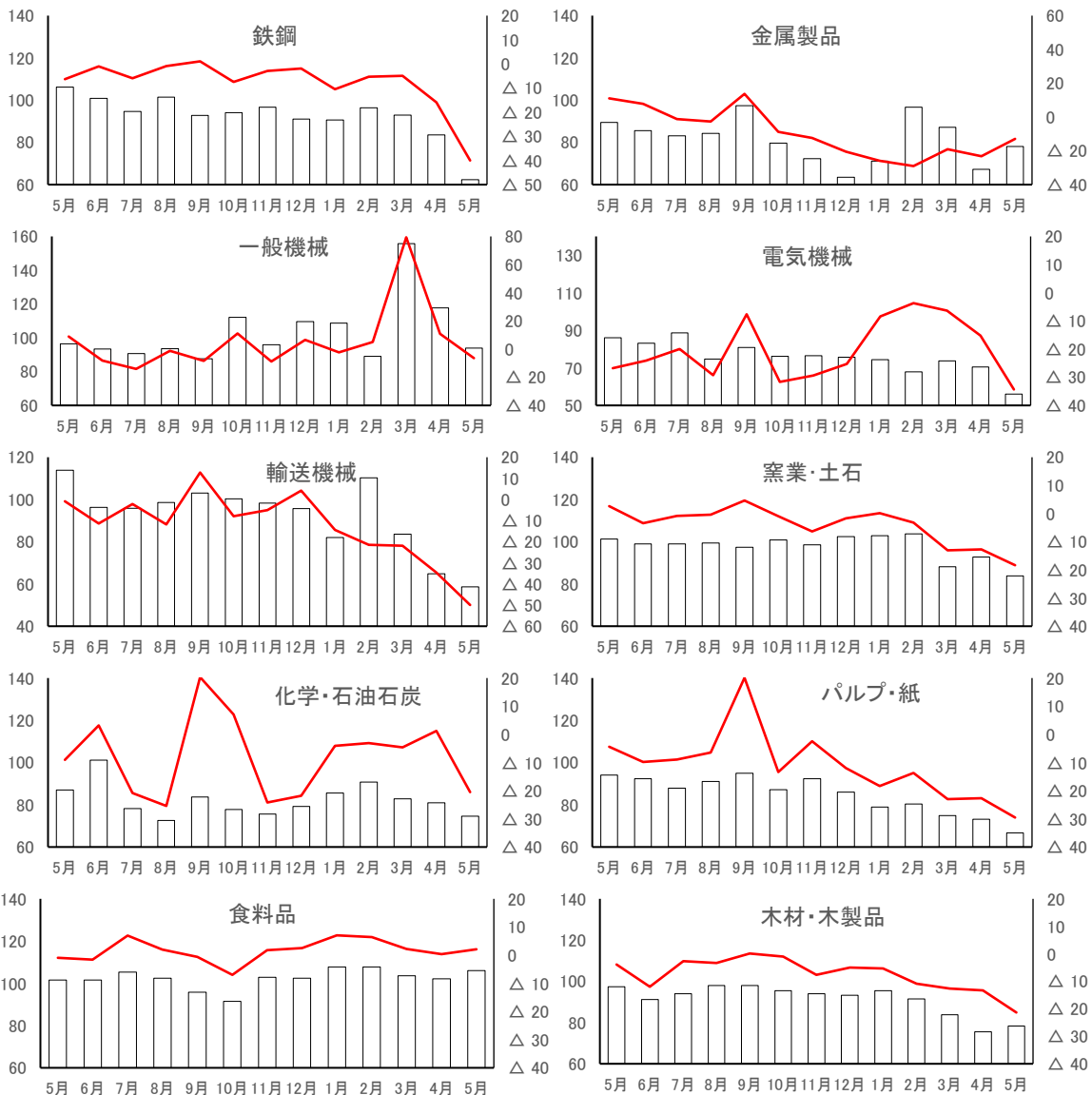
生産活動～低下している

鉱工業生産指数（5月）

鉱工業生産指数（季節調整済）は、79.3で前月比△5.4%（2か月連続の低下）であり、原指数による前年同月比は、△19.8%（8か月連続の低下）となった。業種別にみると、鉄鋼業など12業種が前月比低下、食料品工業など3業種が前月比上昇となった



■主な業種の季節調整済指数(右軸:原指数前年同月比%)

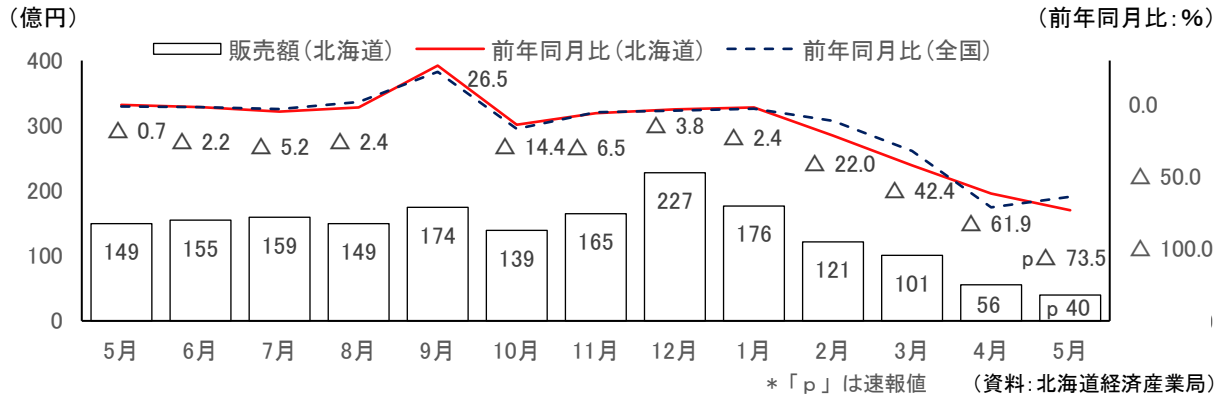


(資料:北海道経済産業局)

■個人消費～低下している

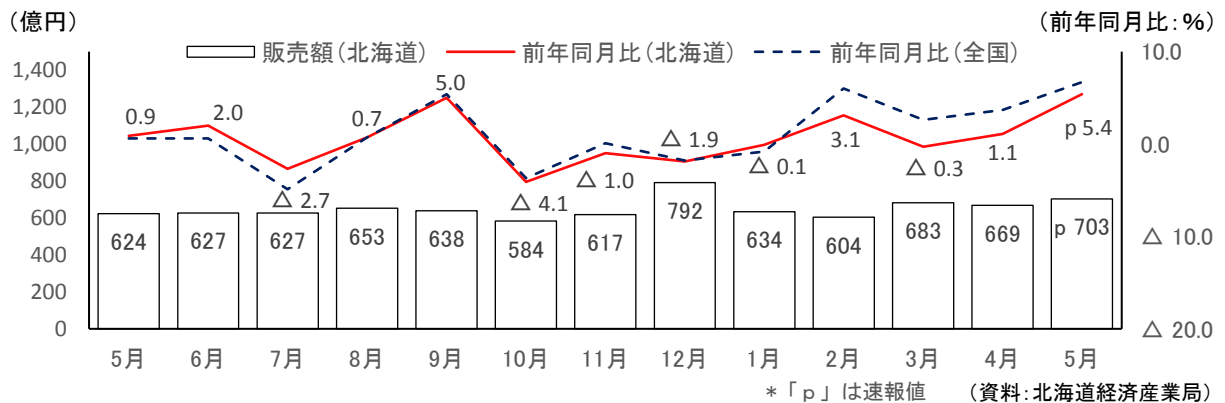
百貨店販売額（5月）

百貨店販売額は、40億円で前年同月比73.5%の減少となり、8か月連続で前年を下回った。



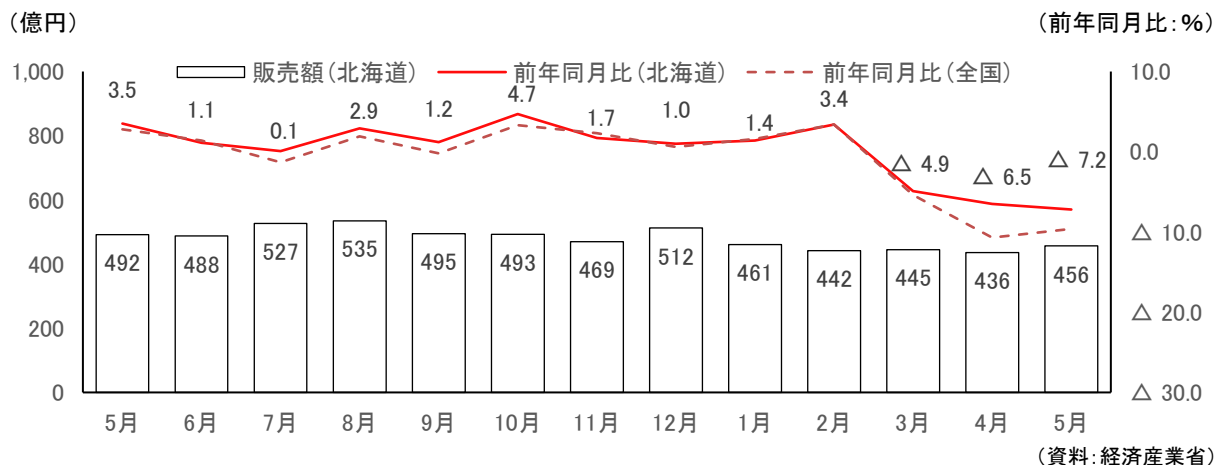
スーパー販売額（5月）

スーパー販売額は、703億円で前年同月比5.4%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



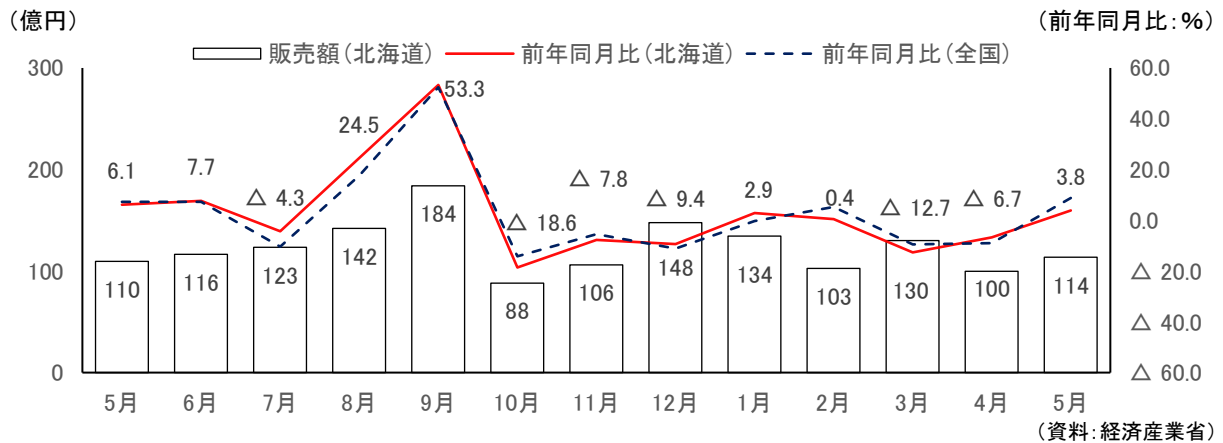
コンビニエンスストア販売額（5月）

コンビニエンスストア販売額は、456億円で前年同月比7.2%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



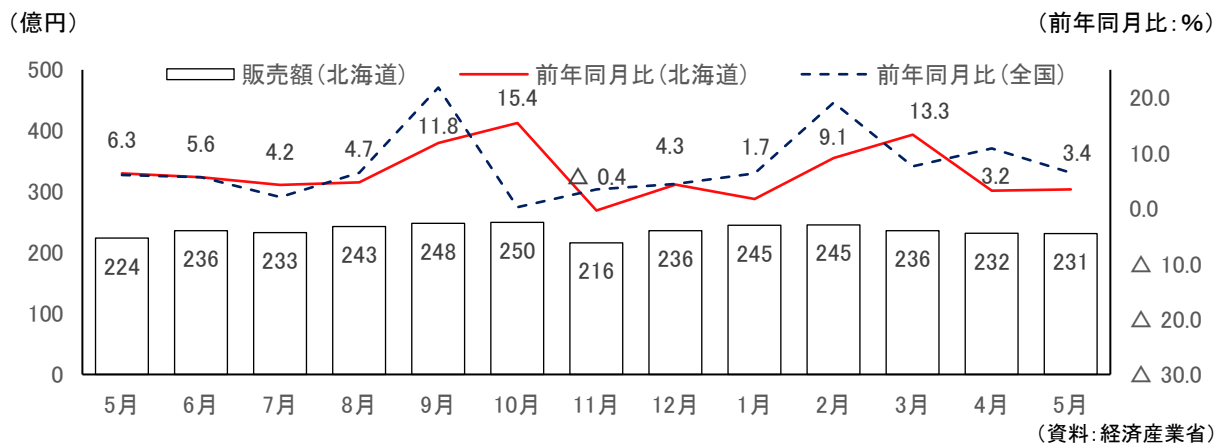
家電大型専門店販売額（5月）

家電大型専門店販売額は、114 億円で前年同月比 3.8%の増加となり、3か月ぶりに前年を上回った。



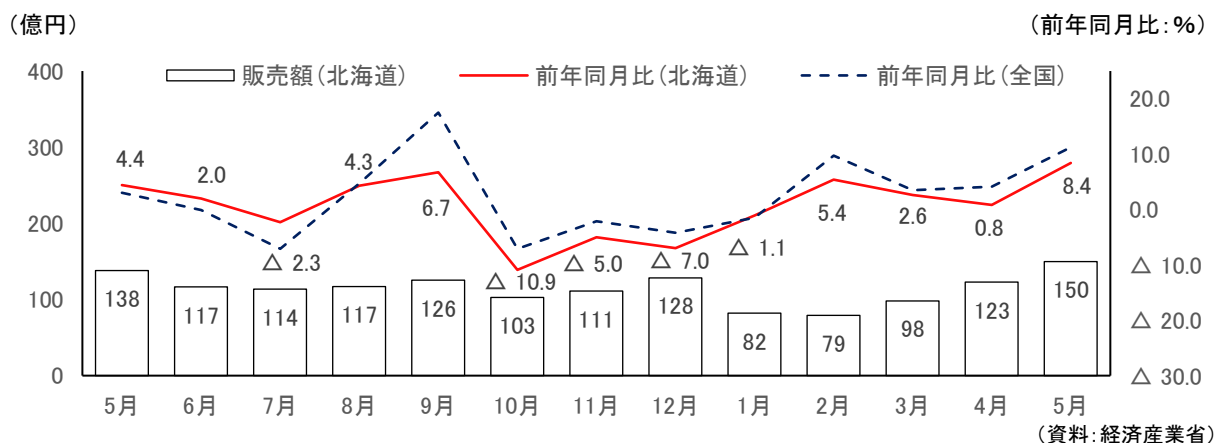
ドラッグストア販売額（5月）

ドラッグストア販売額は、231 億円で前年同月比 3.4%の増加となり、6か月連続で前年を上回った。



ホームセンター販売額（5月）

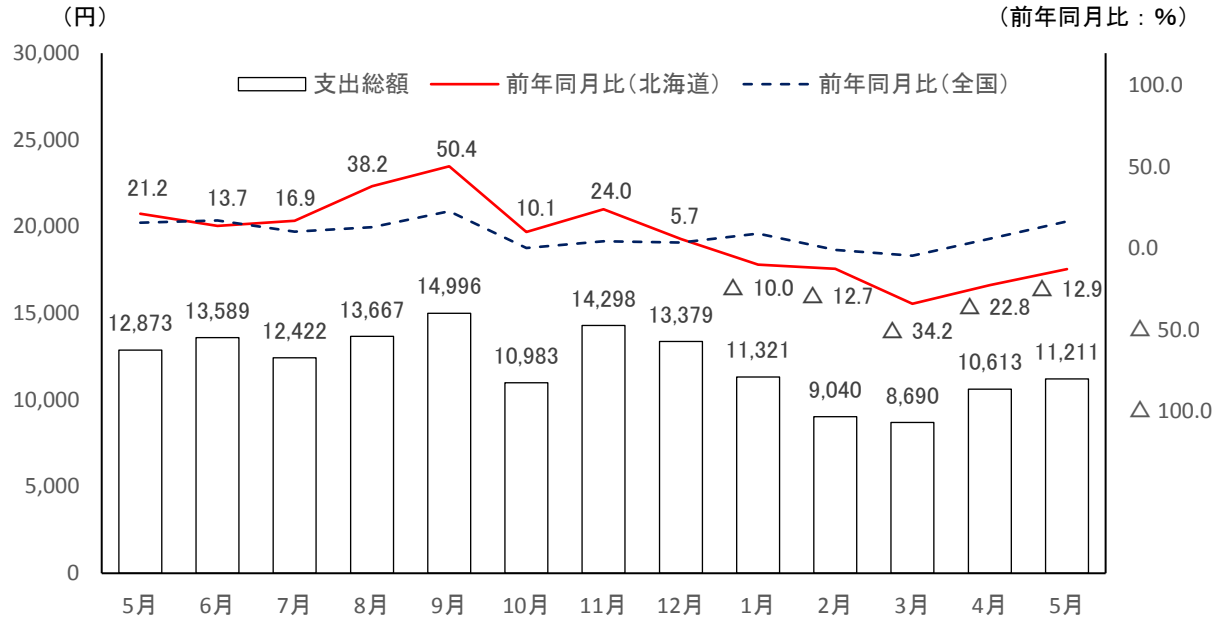
ホームセンター販売額は、150 億円で前年同月比 8.4%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。



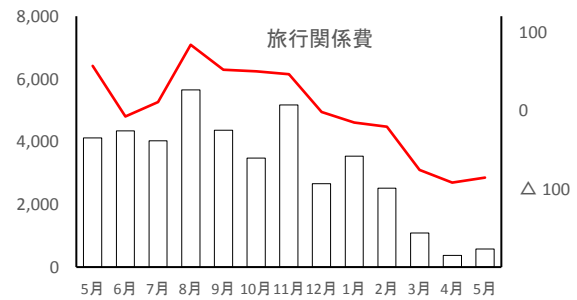
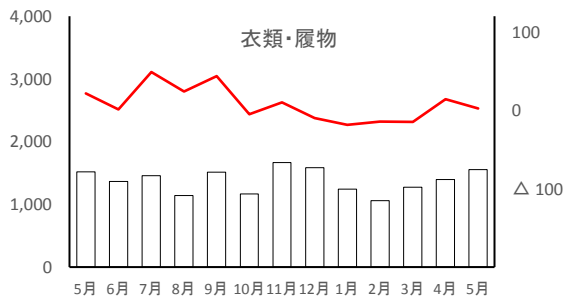
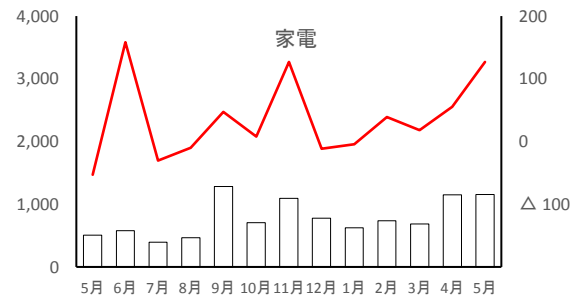
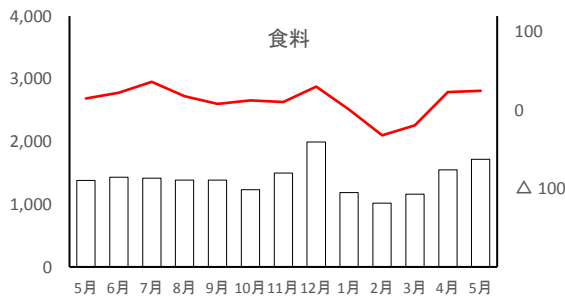
インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出（5月）

インターネットを利用した1世帯当たり1か月間の支出総額は11,211円で、前年同月比12.9%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。

品目別にみると、食料は1,717円で前年同月比24.7%の増加、家電は1,154円で同126.7%の増加、衣類・履物は1,553円で同2.2%の増加となったものの、旅行関係費が580円で同85.9%の減少となった。



■品目別支出額（右軸：前年同月比%）

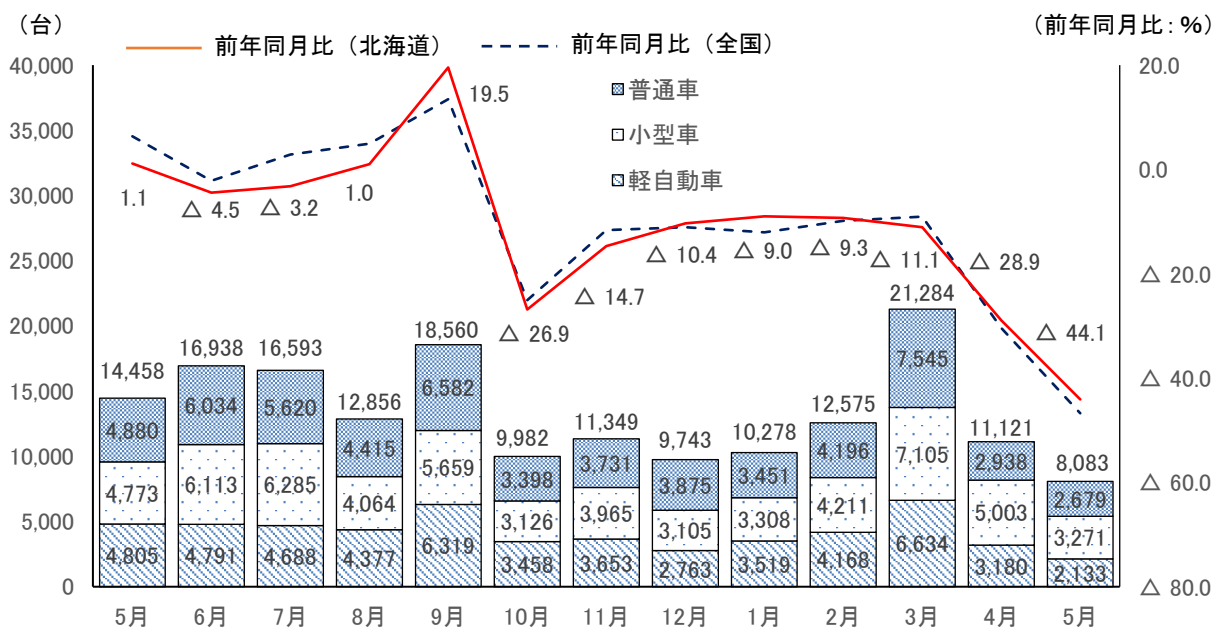


(資料:総務省)

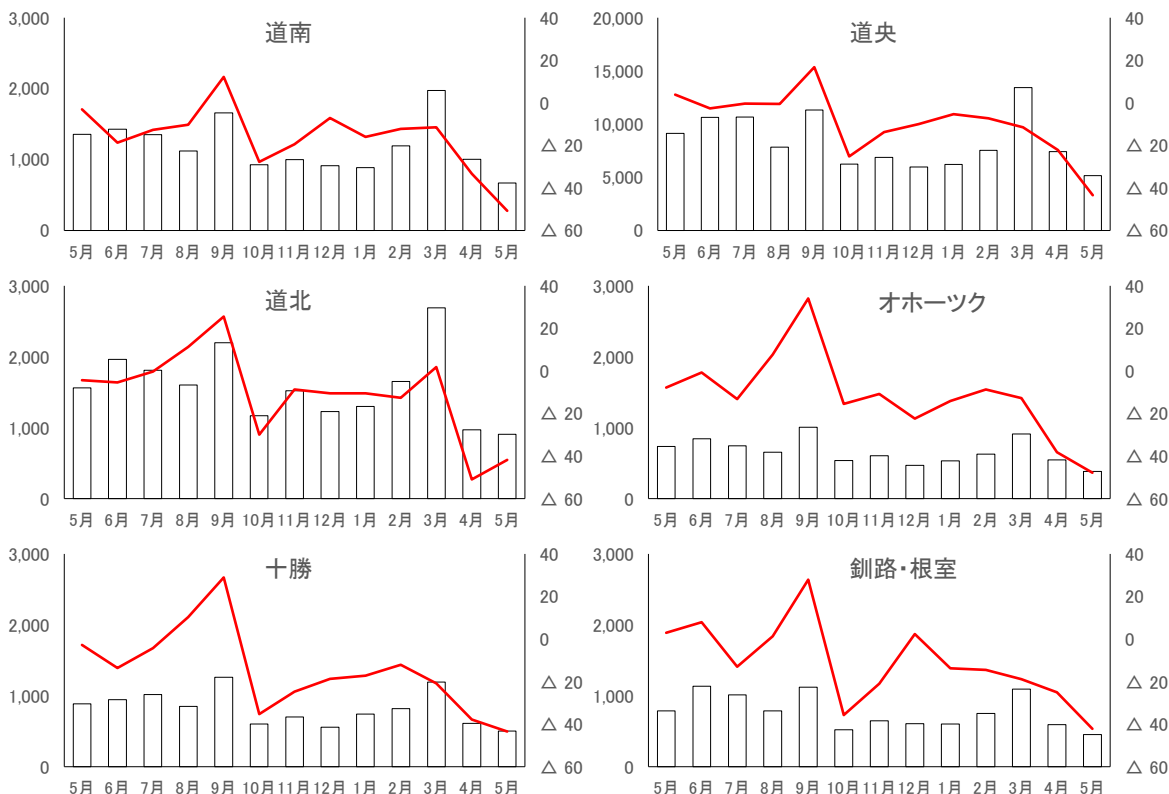
新車登録台数（5月）

新車登録台数は、8,083台で前年同月比44.1%の減少となり、8か月連続で前年を下回った。

車種別にみると、普通車は、2,679台で前年同月比45.1%の減少、小型車は、3,271台で同31.5%の減少、軽自動車は、2,133台で同55.6%の減少となった。



■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）

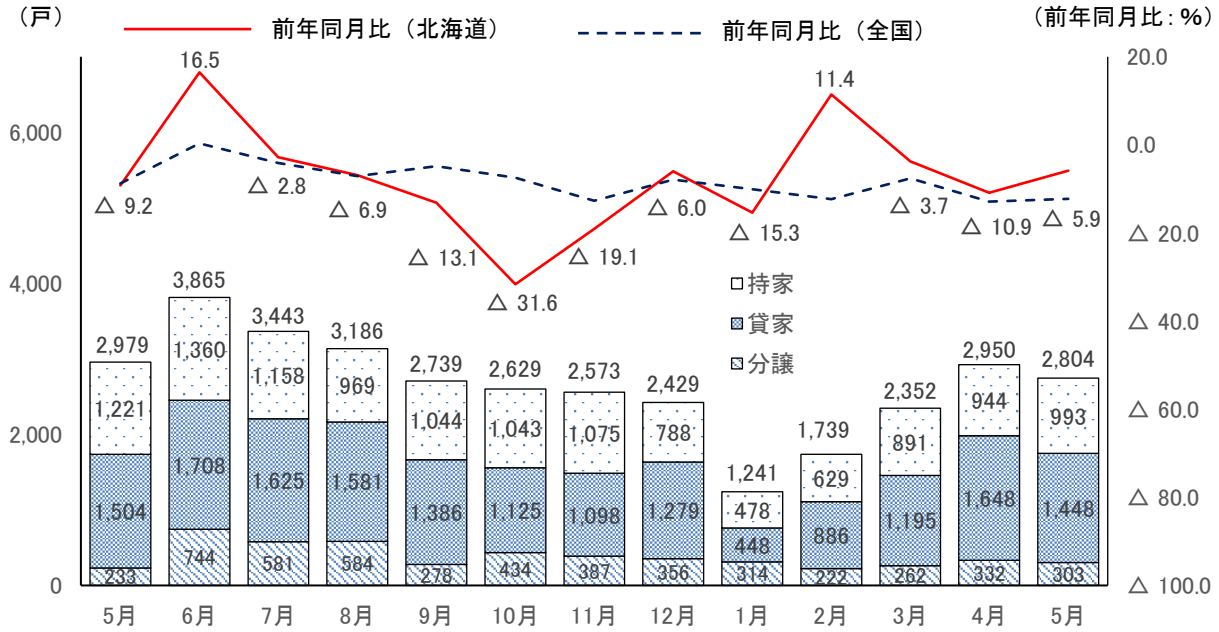


(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

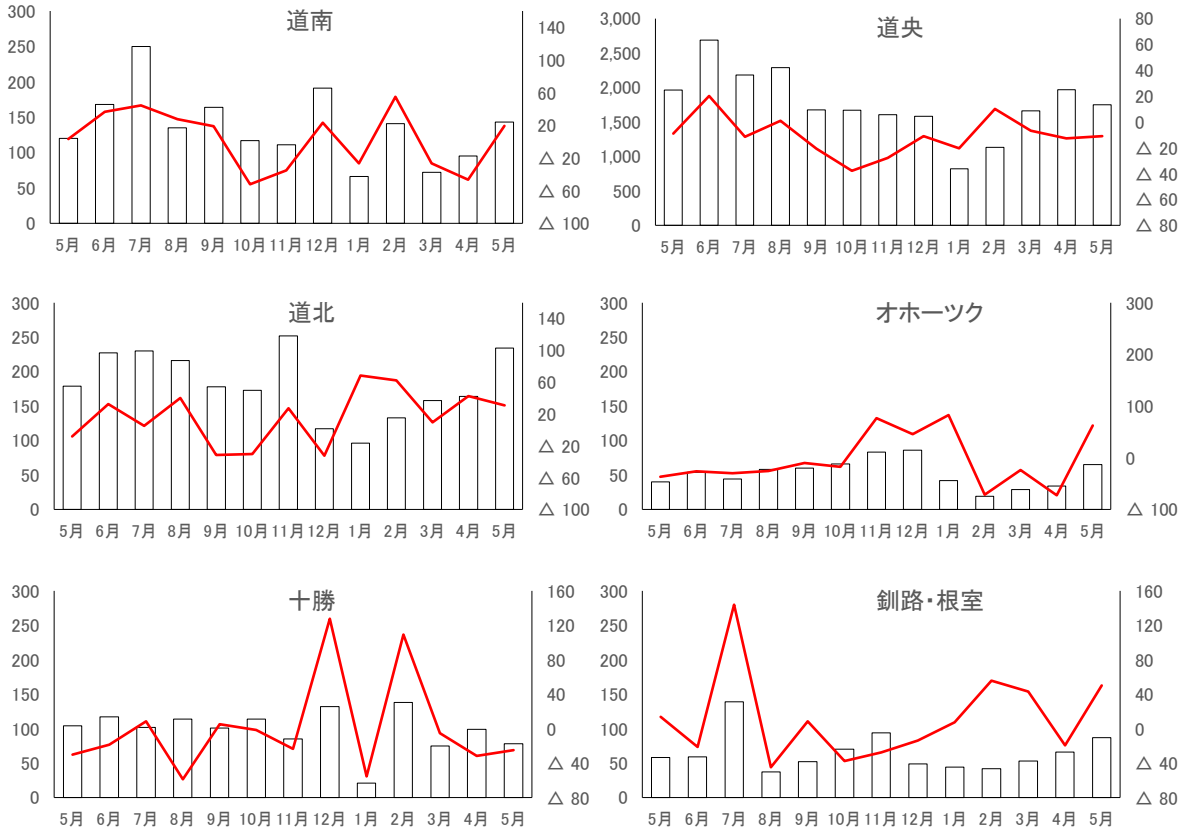
■住宅建設～減少している

新設住宅着工戸数（5月）

住宅着工戸数は、2,804戸で前年同月比5.9%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。
 利用関係別にみると、持家は、993戸で同18.7%の減少、貸家は、1,448戸で同3.7%の減少、分譲住宅は、303戸で同30.0%の増加となった。



■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

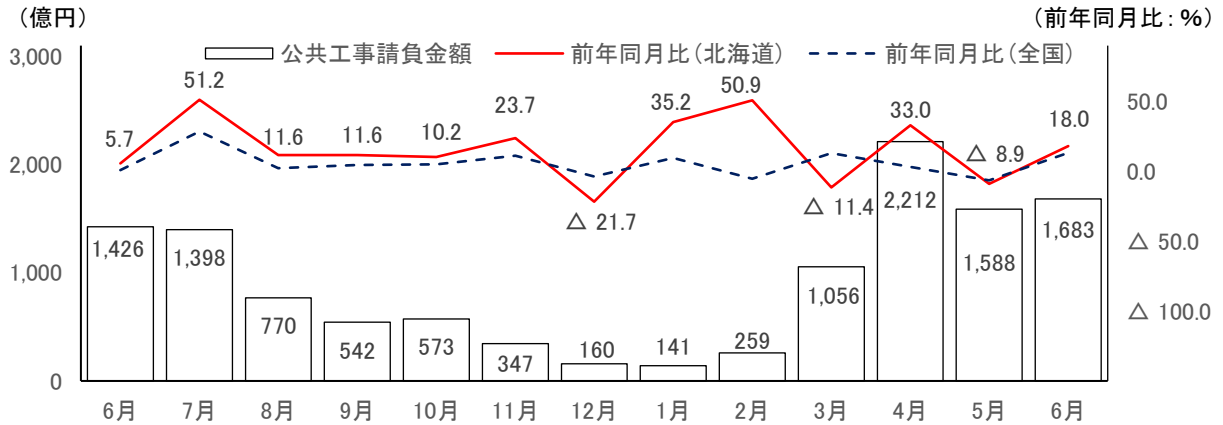


（資料：国土交通省）

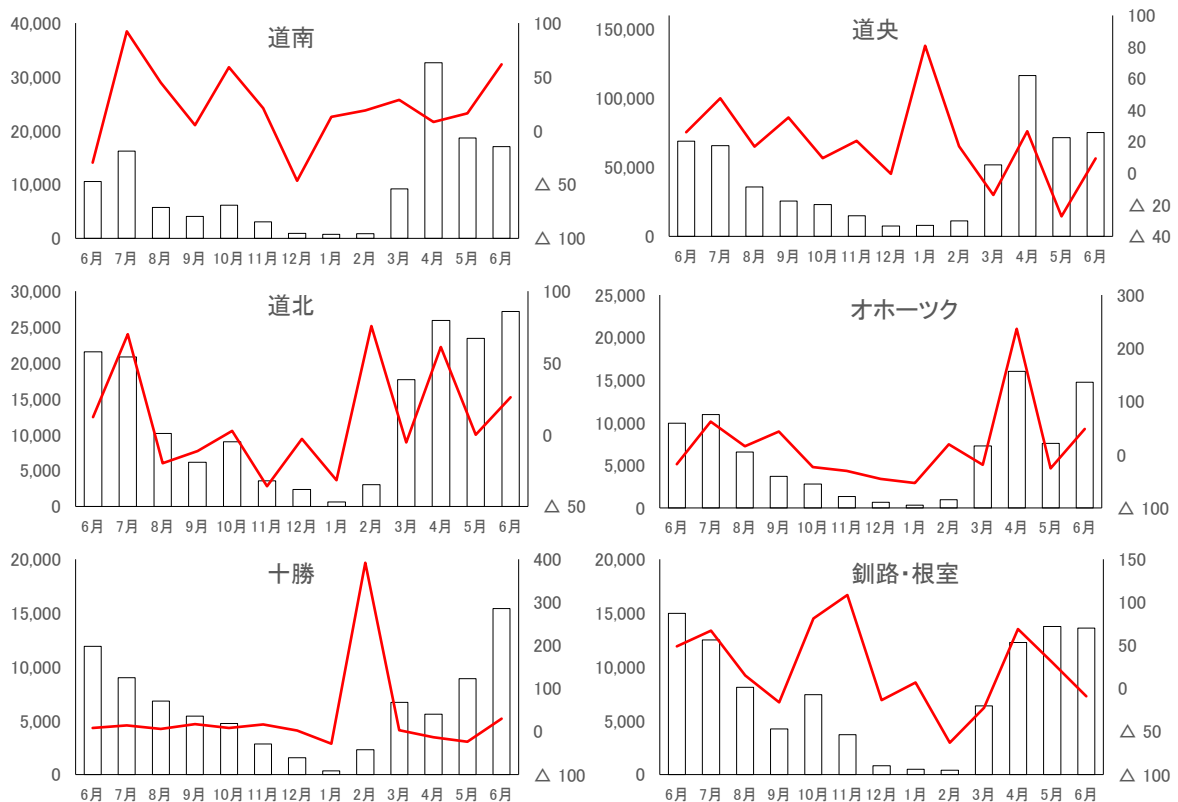
■公共工事～増加している

公共工事請負金額（6月）

請負金額は、1,683億円で前年同月比18.0%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。



■各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）

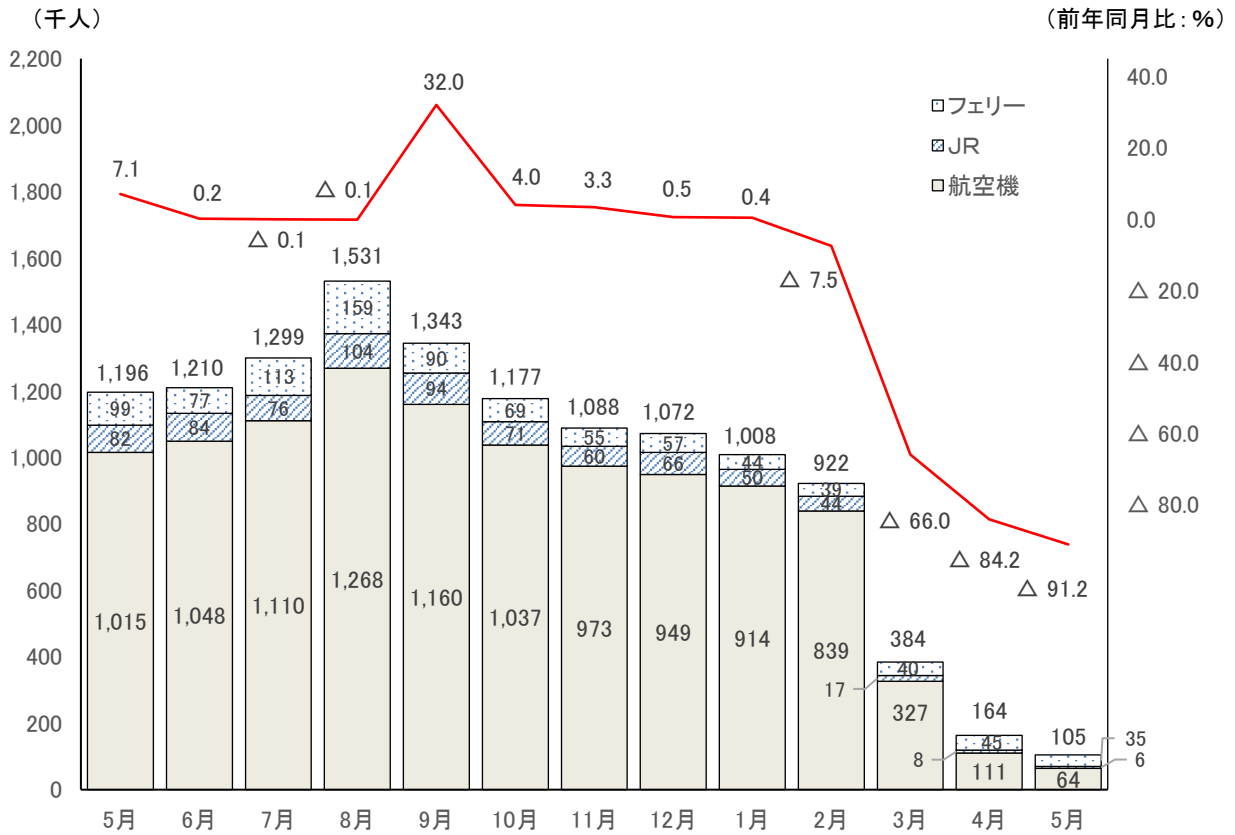


(資料:北海道建設業信用保証(株))

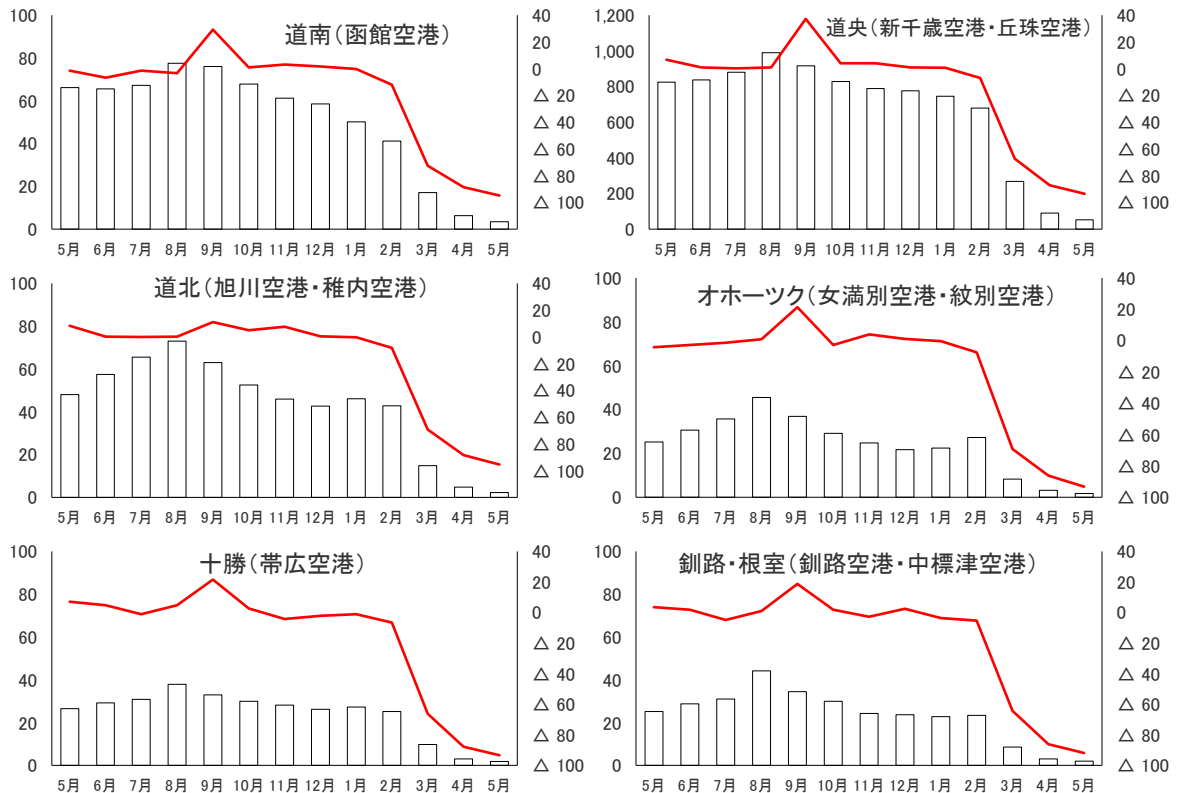
■観光～引き続き悪化し停滞している

来道者数（5月）

来道者数は、10万5千人で前年同月比91.2%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。



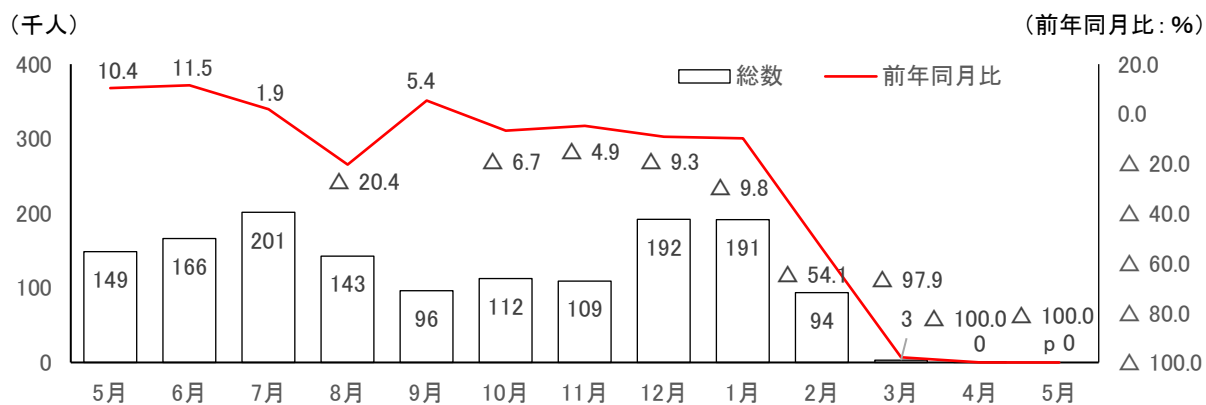
■各圏域の航空機利用による来道者数（左軸：千人、右軸：前年同月比%）



(資料：(公社)北海道観光振興機構)

来道外国人数（5月）

本道に直接入国した外国人は、0人で前年同月比100.0%の減少となり、8か月連続で前年を下回った。

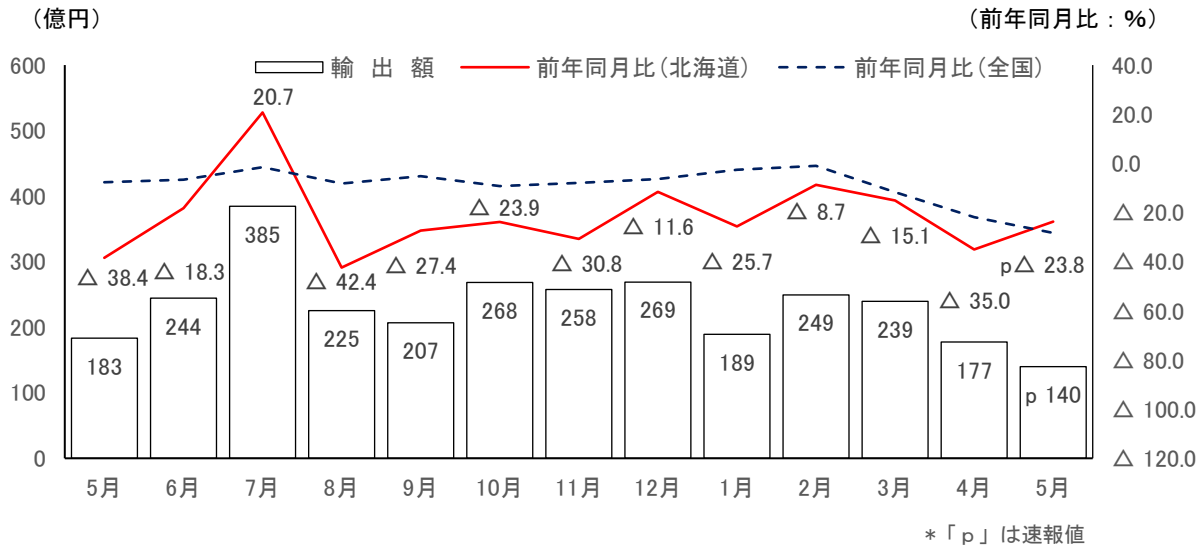


* 「p」は速報値 (資料:法務省入国管理局)

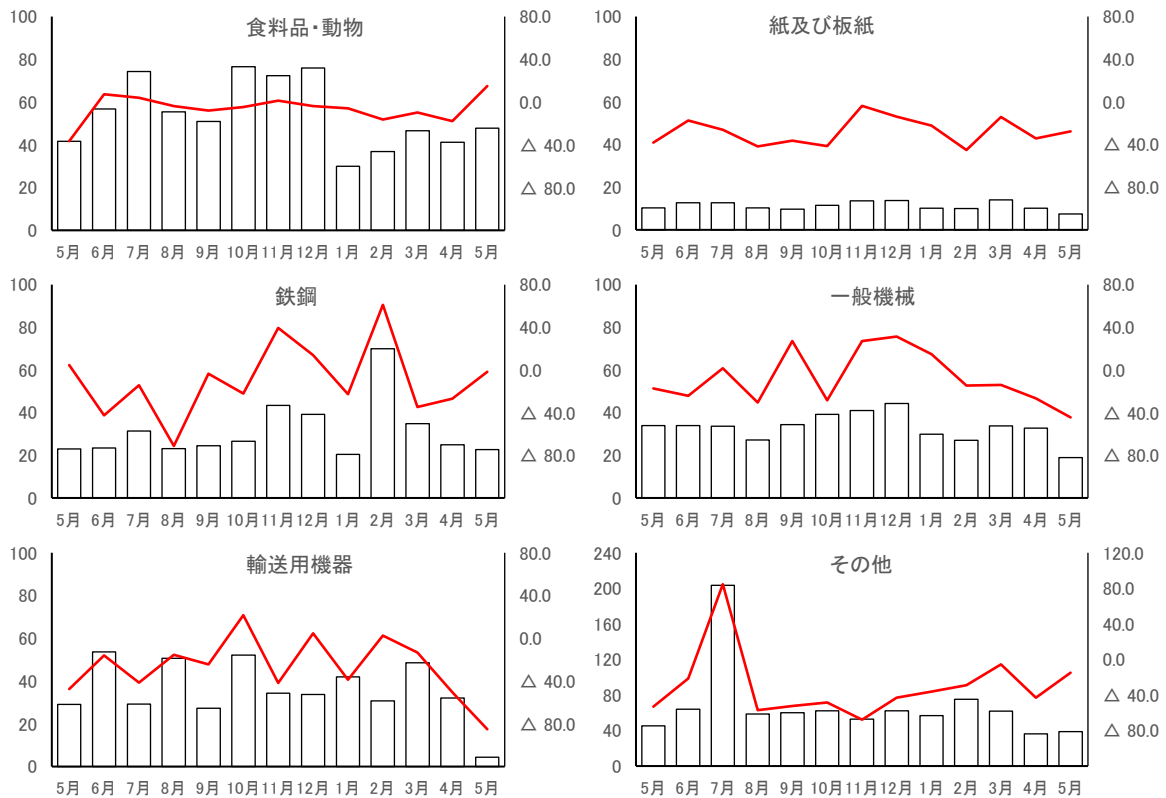
■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

輸出額（5月）

輸出額は、140 億円で前年同月比 23.8%の減少となり、10 か月連続で前年を下回った。品目別にみると、輸送用機器、一般機械などが減少した。



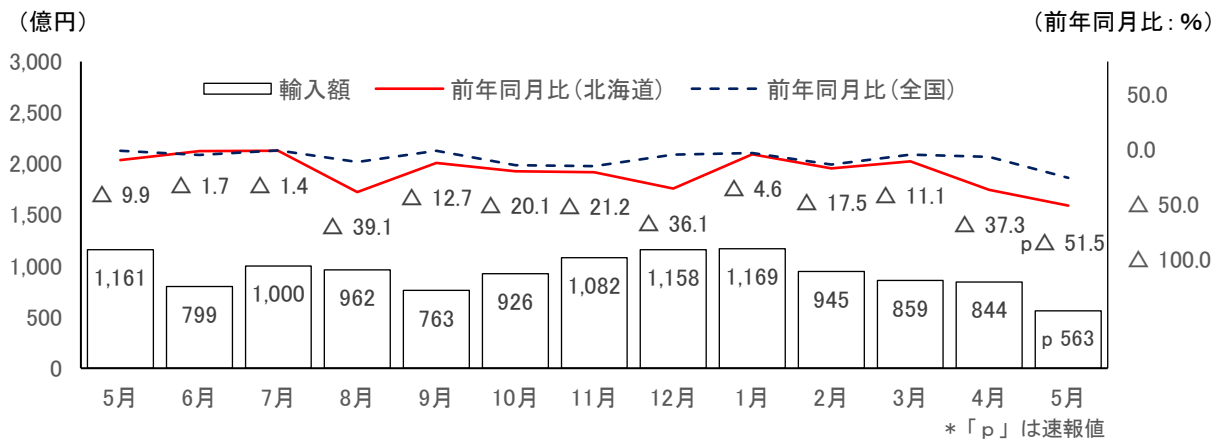
■種類別の輸出額 (右軸：前年同月比%)



(資料: 函館税関)

輸入額（5月）

輸入額は、563億円で同51.5%の減少となり、13か月連続で前年を下回った。
品目別にみると、原油・粗油、航空機類、船舶などが減少した。



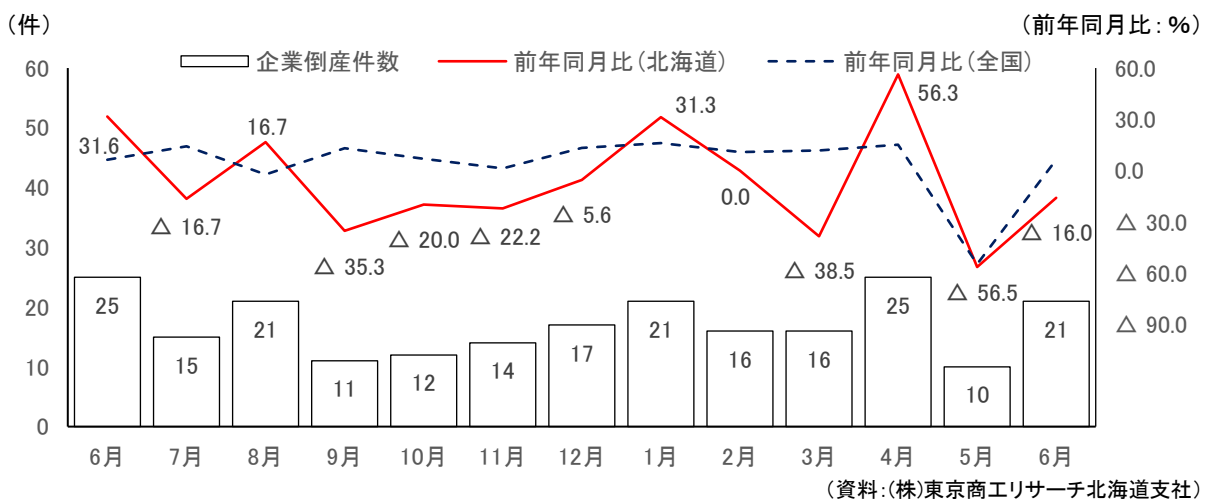
(資料: 函館税関)

■企業倒産～倒産件数、負債総額ともに減少した

倒産件数（6月）

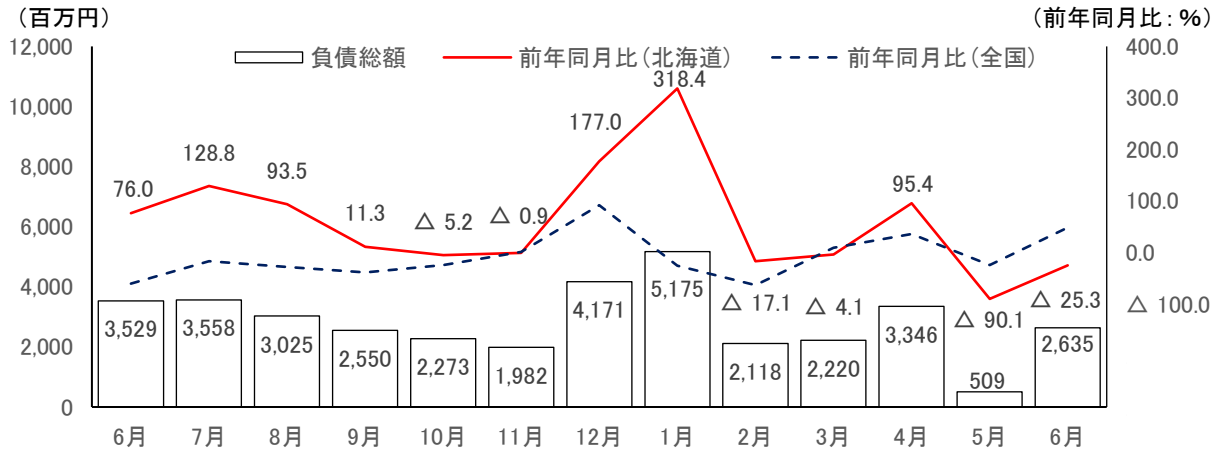
企業倒産件数は21件で前年同月比16.0%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。
原因別でみると、販売不振が13件（構成比61.9%）と半数以上を占めた。

業種別でみると、サービス業が9件（同42.9%）、小売業が2件（同14.3%）、農林漁業、製造業2件（同9.5%）、卸売業2件（同9.5%）となった。

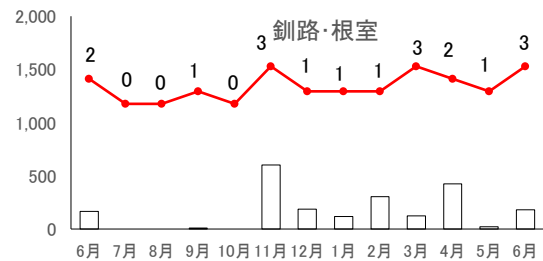
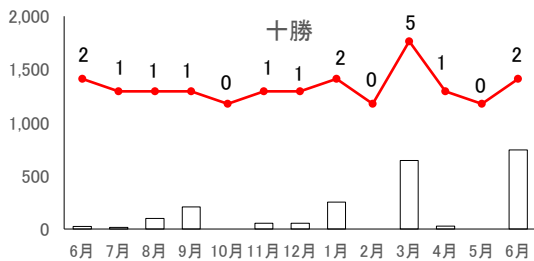
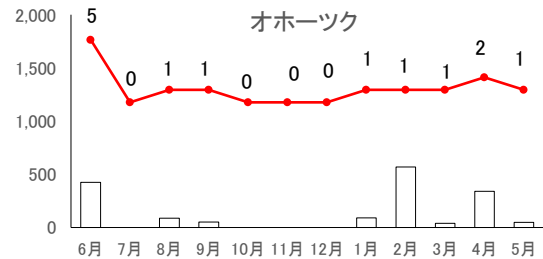
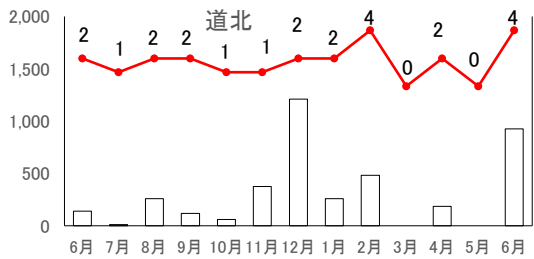
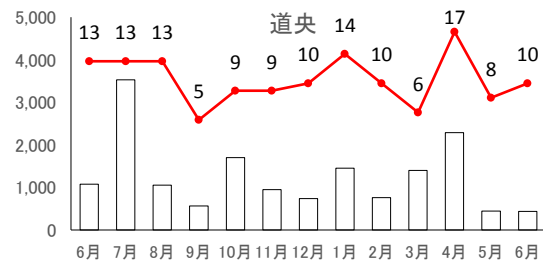
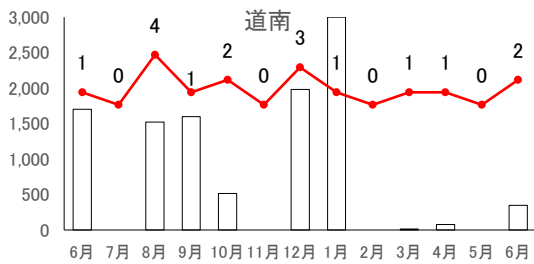


負債総額（6月）

負債総額は、26億35百万で同25.3%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）

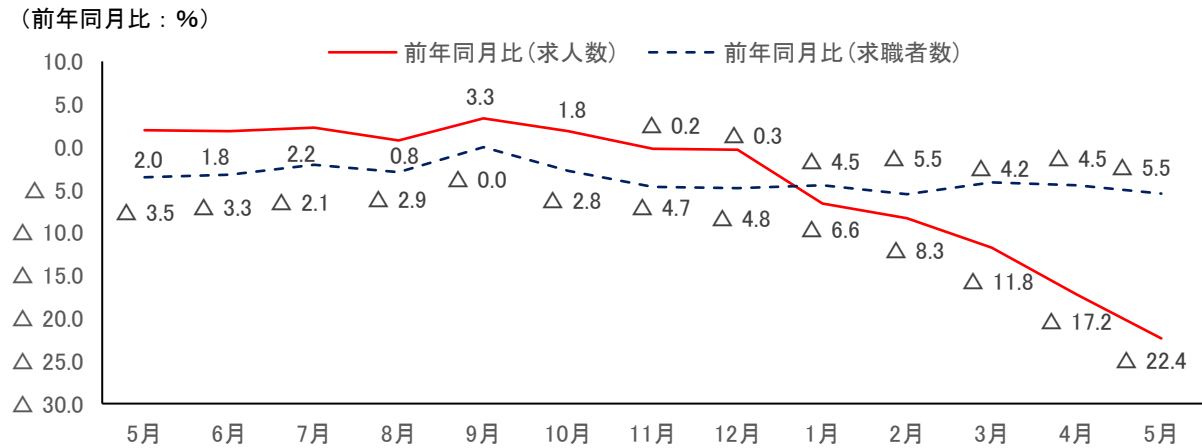
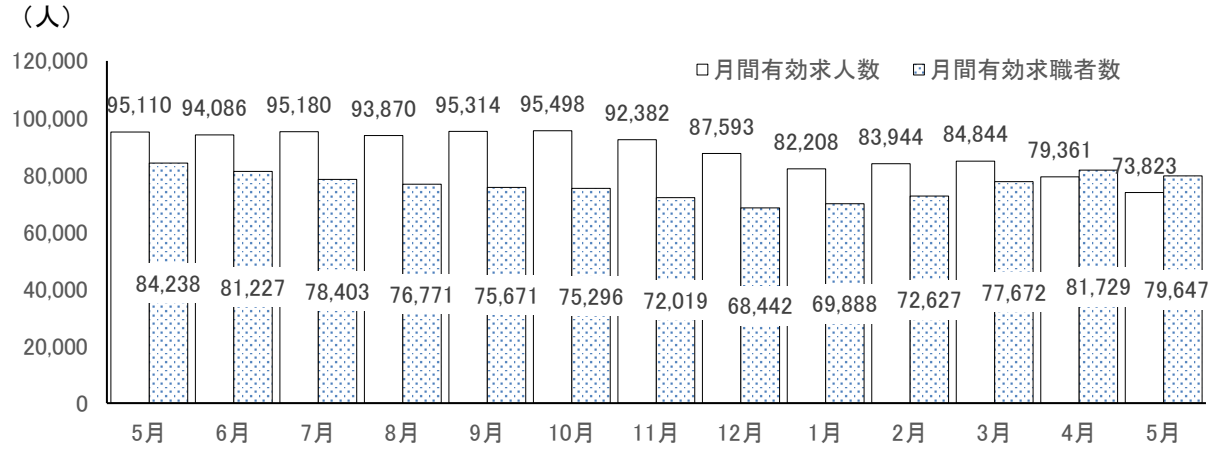


(資料):(株)東京商工リサーチ北海道支社)

■求人・求職～弱い動きが続いている

月間有効求人数・求職者数（5月）

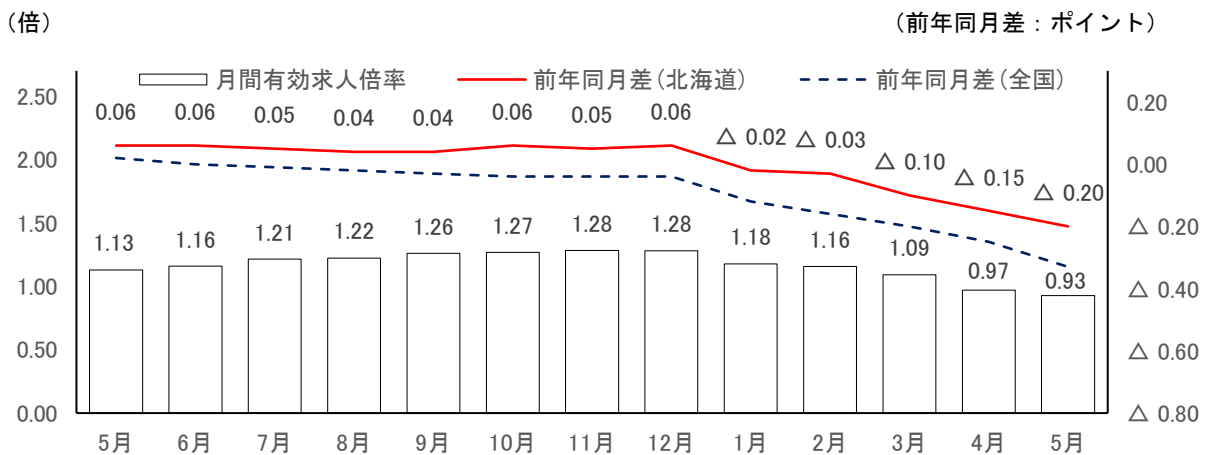
月間有効求人数は、7万3,823人で前年同月比22.4%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。月間有効求職者数は、7万9,647人で同5.5%の減少となり、103か月連続で前年を下回った。



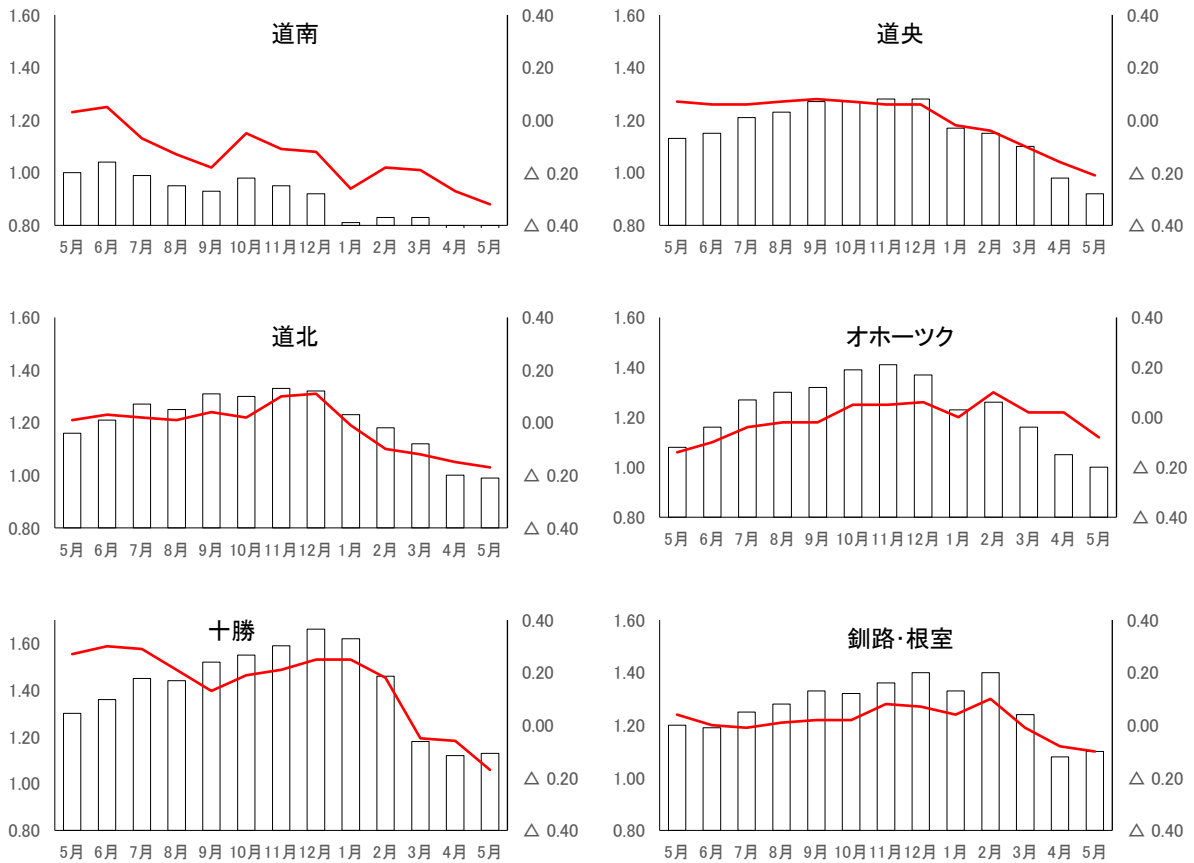
(資料：北海道労働局)

月間有効求人倍率（5月）

有効求人倍率は0.93倍で、前年同月差で0.20ポイントの減少となり、5か月連続で前年を下回った。



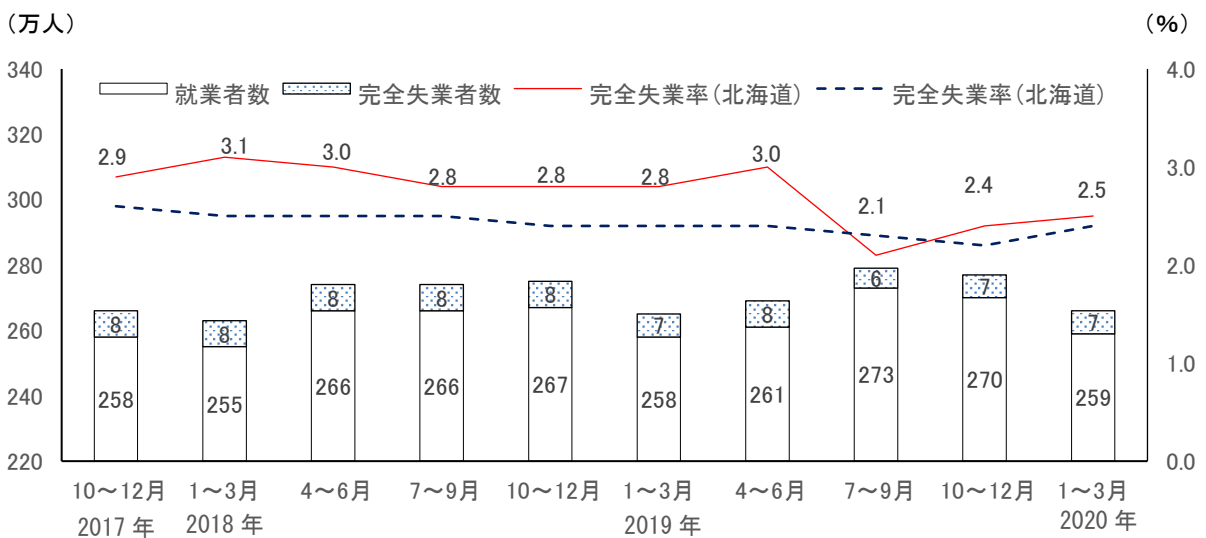
■各圏域の月間有効求人倍率（右軸は前年同月差）



(資料:北海道労働局)

完全失業者数、完全失業率（令和2年1月～3月）

完全失業者数は、前年同期と同数の7万人となっている。
完全失業率は、2.5%で前年同期と比べ、0.3ポイント低下となっている。

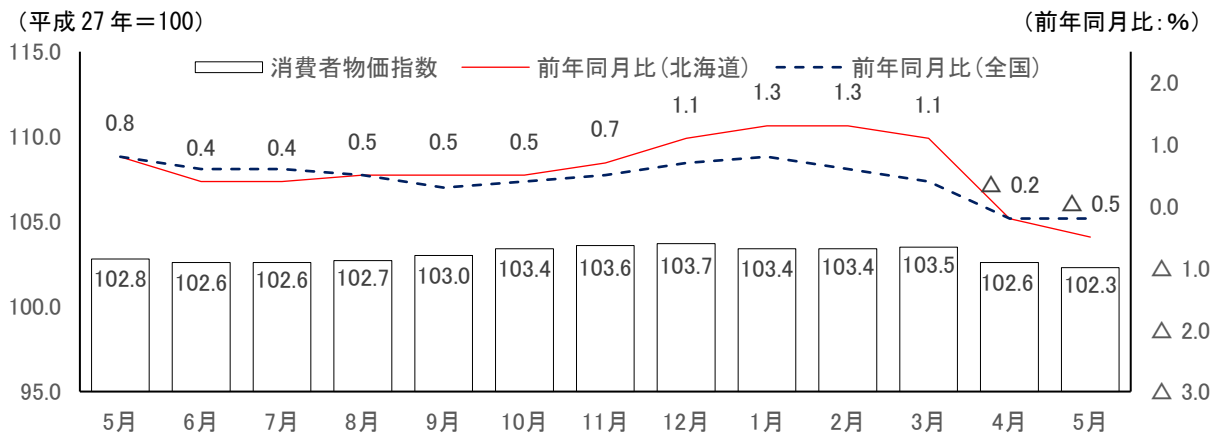


(資料:総務省)

■物価～消費者物価指数は前年を下回った

消費者物価指数（5月）

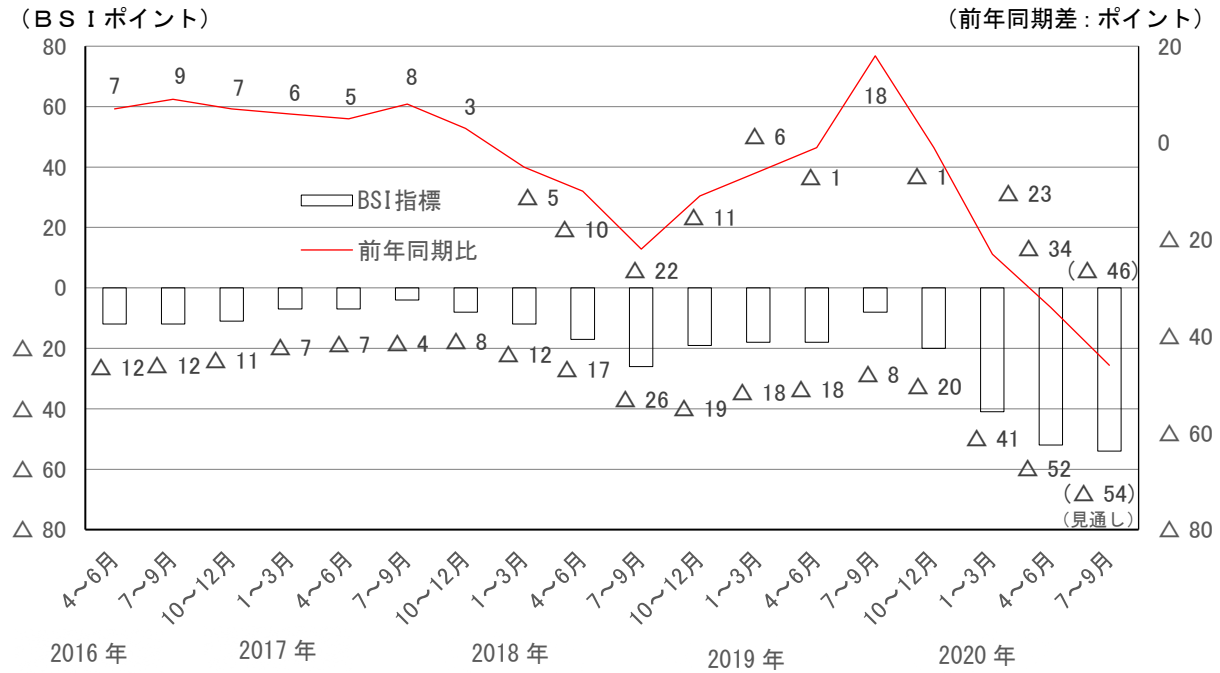
消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、102.3で前年同月比0.5%の下降となり、2か月連続で前年を下回った。



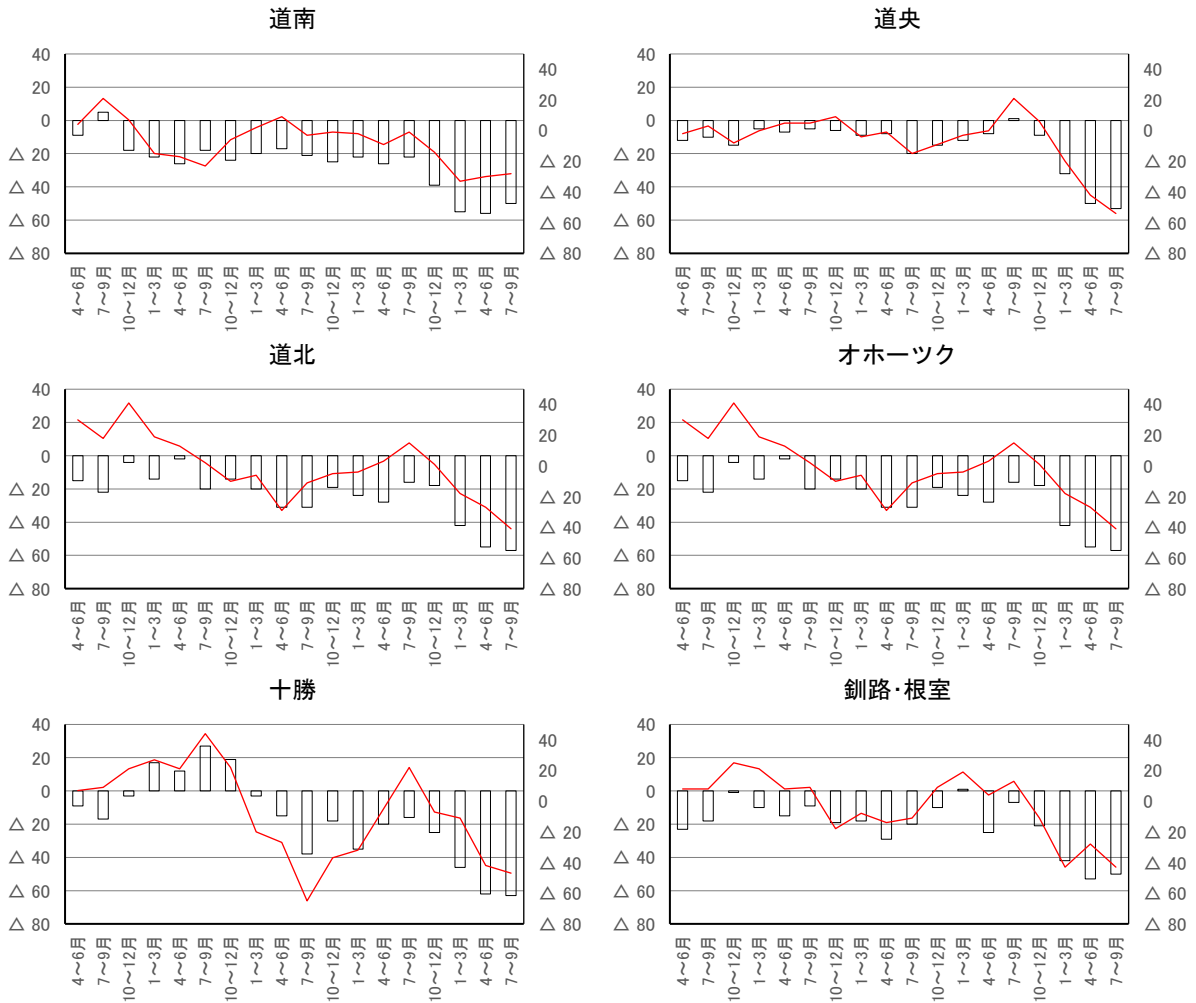
(資料:総務省)

■企業経営者意識調査～前期から下降している

令和2年4～6月期の業況感BSIは△52で、前期から11ポイント下降しており、前年同期より34ポイント下降している。来期見通しは△54ポイントで、今期から2ポイント下降の見通しとなっている。



各圏域の業況感BSI (右軸：前年同期差)



(北海道経済部調べ)

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（道央地域）

【外出自粛傾向は続くものの、買上率や単価は高く推移】

緊急事態宣言解除後も外出自粛傾向が続き、入店客数は前年の半分程度だが、目的をもって来店される方が多く、買上率や単価は高く推移している。お中元は店頭販売が苦戦するも、EC売上が好調。6月売上は、クリアランスセール分散化により苦戦したが、月後半は特選ブランド品等、高額品の動きが良かった。7月以降は、リビング用品などイエナカ消費が好調。

【非来店の取組を展開】

実店舗以外でのお買い物の利便性向上や、密の回避策として、オンラインショップや送料無料による電話注文販売の強化等に取り組んでいる。

◆スーパー（道央地域）

【来店客の動きは通常に戻りつつある】

緊急事態宣言解除後の6月の来店客の動きは、通常に戻りつつある地域もあるが、札幌市内ではまだ外食などを控えている影響が残っていると思われ、売上は前年比で増加している。「北海道スタイル」の実践にあたっては、多少の経費増はあるものの利益に影響がでるほどではなく、今後とも感染拡大防止に取り組み、お客様へお伝えして安心していただくことも重視している。

【給付金による売上増】

特別定額給付金の支給や5月までの反動からか、衣料品の売上が伸びた。各部門の夏ギフトも好調に推移しており、父の日は刺身や寿司などの「少しぜいたく」商品の売上が伸びた。レジ袋有料化にあたっては、6月中旬より全てのレジ袋などを有料化した。特段問題はなかった上、マイバックの販売が伸びた。

◆コンビニエンスストア（道央地域）

【都市部で客数減少、家庭内で消費増加】

緊急事態宣言が解除され、徐々に人の動きは戻ってきているものの、テレワークがある程度浸透してきているためか、都市部での来客数の減少は継続している。早めに帰宅する動きにも変化はなく、夜間から深夜にかけての客数の戻りは鈍い。また、観光地の人の戻りは顕著に表れていない。

一方、家庭内での消費増加は継続しており、生鮮食料品やアルコール類、アイスやデザートなどのスイーツ類の動きも好調となっている。

最近の経済動向

令和2年7月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>